

一般質問

12月 定例会

防災対策

地震に負けない町づくりを

国・県へ要望する



議員 昭三 矢野

問 地震津波に負けない町づくりについて問う。

まず、地震津波に負けないために、鹿島さんのような防波堤と道路建設、及び医療機器、薬品の確保に取り組み考えはあるか。また、国道56号小黒ノ川、不破原間の山岳が軟弱なため、対岸の町道補強に取り組み考えはないか。

答 武政まちづくり課長

沿岸防潮堤、河川堤防、道路建設については、国、県へ要望すると共に、対岸町道整

備は来年の当初予算に要求する。

答 宮川健康福祉課長

医療機器、薬品確保については、幡多管内で協議している。

産業振興

自主性をもち

取り組み

前向きにやる

問 行政のあり方について、まず、漁港整備と農業の振興推進し可処分所得の向上を図る考えはあるか。

次に、鳥獣対策への取り組みを問う。また、鉄道のガードが小さく、車の通行に支障があるが改善を図るのか。更に、町道大井川馬荷線の整備について問う。

答 松田農業振興課長

漁港整備と農業振興については、平成25年度に整備計画を策定し実施の予定。

答 浜田海洋森林課長

鳥獣対策は、実施隊の設立をはじめ、コンクリート基礎防護柵等の設置に取り組む。

答 森田建設課長

鉄道のガードについては、鉄道会社と協議する。

答 植田副町長

大井川馬荷線については、平成26年に調査する。

安全対策

すべての町民に

配慮を

関係機関等

協議する

問 全ての町民の生活支援策として、町民が暮らしやすい

生活安全対策の策定時に、目隠し等の歩行疑似体験をしてはどうか。また、佐賀駅の階段の改善を図れないか。加えて、町内での住宅建築を取りやめて隣の町等で建築している状況だが、町有林等を解放

し、転出者対策に取り組む考えはないか。

答 宮川健康福祉課長

地域福祉計画、障害者計画を策定、住民同士の助け合い、支えあう地域づくり。子供から高齢者まで誰もが笑顔で過ごせる町を目指している。交通安全対策は国、県警察等と協力しながら進める。

答 松本情報防災課長

住宅建築については、段階的に高台や内陸部に新たな住宅地の形成を目指す計画を立てているが、高知県版第2弾震度分布津波浸水予測の公表を受けて、第2次黒潮町地震津波防災計画の基本的な考え方を、平成25年1月中をメドに策定する。